

博学連携事例集（非来館型）

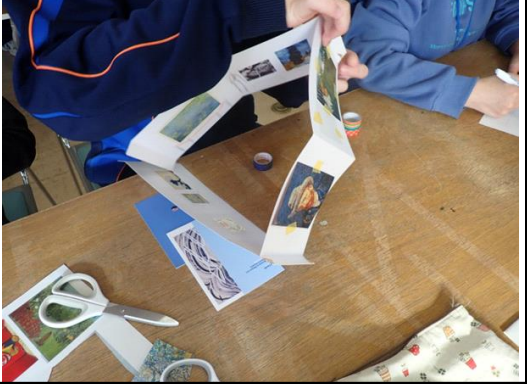
調査日：令和 8 年 1 月13日

更新日：令和 8 年 9 月28日

- <留意事項>

 - ・記載の事例は一例です。記載の内容が必ずしも実施できるわけではありません。
 - ・博学連携の実施にあたっては、他館の事例も参考にしながら、各博物館と内容の調整を行ってください。

実践館	利用種別	実践学年	活動概要	活動写真
神奈川県立歴史博物館	授業案作成支援	高校生（一部、中学生）	調査研究事業の一環として、「博学協働による博物館資料の教材化に関する研究」をテーマに設定し、神奈川県高等学校社会科部会日本史研究推進委員会参加教員（以下、教員）と当館学芸員が協働して、主に当館所蔵資料を教材として活用する授業案の作成及び授業実践の支援を行った。 博物館資料について専門知識を有する学芸員が的確な資料を紹介・解説し、日ごろから生徒に接している教員が生徒に適した授業案を作成した。	
平塚市博物館	授業	小学4年生以上	学校からの要望により、体験講座を実施した。 （内容） ・舞がり型火起し機による火起こし体験 ・土器づくり、土器焼き体験	
	授業	小学4年生以上	学校からの要望により、講演を行った。	

神奈川県立近代美術館	授業	高校 2 年生	美術館や普及事業紹介及びオリジナル教材「○と□」を使用したワークショップを行った。 （オリジナル教材「○と□」とは） 11センチの正方形から直径8センチの円を切り抜いた、8つのパーツを1セットとした教材。 （「○と□」ワークショップの内容） パーツを自由に組み合わせて好きな形をつくり、できた作品を互いに見せ合う。	
	授業	高校 1 年生	美術館紹介及びオリジナル教材「Museum Box 宝箱」を使用したワークショップを行った。 （オリジナル教材「Museum Box 宝箱」とは） 所蔵作品約1万6000件以上の中での代表作品56点のカードと美術館の仕事をわかりやすく描き表したオリジナルすごろく、サイコロ、駒が入っている。カードの裏には作品の解説が書かれており、遊びながら作品を知ることができる。 この授業では、カードを大きく印刷して黒板に張り出した作品（スリット入り）の一部から全体を推測して机上のカードから正解を選ぶ「ブラインドゲーム」を行った。	
	授業	高校 1 年生	美術館紹介及びオリジナル教材「ポータブル・アートミュージアム」を使用したワークショップを行った。 （オリジナル教材「ポータブル・アートミュージアム」とは） オリジナルのモチはこべる展覧会を作ることができる教材。いくつか窓枠があるシートが4枚入っている。 （「ポータブル・アートミュージアム」ワークショップの内容） チラシや雑誌の切り抜き、自分で描いた絵などの「作品」を集めてシートに貼り、展覧会をつくる。できた展覧会を互いに見せ合う。	

箱根町立郷土資料館	授業	小学5年生	箱根の文化を学ぶため、地域に伝わるお正月のお飾り作りを行い、お正月のお飾りに付ける飾りものの意味について解説した。	
	授業	小学6年生	学校に訪問し、歴史のガイドツアーとして、町内の主要な地域の旧石器～弥生時代について解説した。小学校付近で発掘された遺跡についても解説した。 (内容) ・実際の土器、矢じりを児童に見せた。 ・博物館施設等で販売されている矢じりで食品を切り、石器の鋭さを知る。	
	授業	小学6年生	学校に訪問し、歴史のガイドツアーとして、箱根町の江戸時代について解説した。学芸員がパワーポイントを用いて解説し、それに合わせて先生が黒板に板書した。 (内容) ・「箱根八里」の唄を用い、小田原から三島を通る箱根八里の険しさについて。 ・旧街道について。 ・箱根に関所が設けられた理由について。 ・当時日本を訪れた外国人の日記から、当時の関所を知る。	
	授業	小学6年生 中学2年生	6月に、学校に訪問してわらじの製作を行った。 11月に、製作したわらじを履き、旧街道の一部を歩いた。 途中の主要箇所、箱根関所にて解説を行った。	
大磯町郷土資料館	授業	小学3年生	総合学習の授業でアオバトの観察会を実施した。	
	授業	小学3年生	総合学習の授業で「大磯の自然」に関する講義を実施した。	
横須賀美術館	授業	小学5年生	地域の魅力を再発見する社会科の授業に協力した。 (内容) ・谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉から昭和時代を振り返る ・学校にてTT授業（アウトリーチ） ・夏休みに地域の商店街にて同小学校の希望者（5・6年生）を対象にワークショップを開催（内容：谷内六郎作品の見どころ解説を執筆する） ・商店街の空き店舗にて昔の商店街の写真と谷内六郎作品をパネルで展示し、加えて児童による解説文を掲示 ・上記に併せて小学5年生の授業の成果を展示	
茅ヶ崎市博物館	授業	中学1年生	平和学習の一環として、市内の戦争にまつわる話を学校でしてほしいと教員から依頼を受け、学校にて授業を実施した。 事前に生徒達の戦争に対する意識や知識がどのようなものかを知るため、博物館が用意した質問に回答してもらい、生徒達の興味や知識に合わせた授業とした。生徒達は写真をスライドで見て、市内の戦争による影響の解説を受けた後、資料を観察した。	

東海大学松前記念館	授業	小学生～高校生	アウトリーチ活動「地域連携によるユニバーサル・ミュージアム普及事業」の一環として、毎年、彫刻家などの講師を招へいし、水粘土、石こう、ブロンズ、テラコッタ、異形棒鋼など様々な素材を用いた造形活動を実施している。なお、造形活動のサポートには東海大学松前記念館の博物館実習生が関わっている。	
------------------	-----------	----------------	---	---